

関西外国語大学 教職課程

履修カルテ

該当するものに○をつける	学部 ・ 科目等履修生
学部・学科	外国語学部 国際日本学科
クラス・学籍番号	
ふりがな	
氏 名	

履修カルテについて

目的

「教職実践演習」を履修するまでに、教職課程にかかわる授業及び学内外での活動を通し、教員として必要な知識や技能をどの程度身に付けたか、さらに今後どのような資質を身に付けなければならないかを、自分で考える手がかりにするためのものです。

項目

1. 「個人票」
2. 「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」
3. 「教職に関連する活動等」
4. 「自己評価シート」
5. 「介護等体験レポートに関すること」
6. 「教育実習レポートに関すること」
7. 「教育の基礎的理解に関する科目等のレポート」
8. 「教職実践演習担当者によるコメント記載欄」

注意事項

- ・ 本カルテは4年次の「教職実践演習」の初回授業で担当教員に提出してください。
提出時に未実施の活動項目については、活動後すみやかに追加提出してください。
いかなる理由であっても、本カルテの提出がない場合、「教職実践演習」の履修は認められません。
- ・ 万が一、パソコン・保存データが壊れてしまっても対応できるよう、データのバックアップを必ずとってください。各学期終了後に随時入力し、データを保存してください。データやファイルを紛失した場合は、全ての必要項目を再度記入・作成してもらいます。
- ・ 卒業後（他大学編入や大学院進学を含む）は、免許状取得のため、「履修カルテ」が必要となる場合がありますので、大切に保管してください。
- ・ 履修カルテには個人情報記録されています。管理には十分注意してください。

履修カルテ記入の仕方

作成の手順

- ① GAIDAI-Link より「履修カルテ(学部・学科別)」をダウンロード。
- ② 必要事項を記入(手書き・パソコンでのタイプ打ちは問いません)。
- ③ 欄が足りなくなった場合は、各自で欄を増やすなどして使用すること。
- ④ 印刷時は A4 サイズ・両面で印刷すること。
- ⑤ 第 3 回教育実習ガイダンスで配付するクリップで、履修カルテ及び必要書類を綴じ込む。

作成スケジュール

教職課程登録から教員免許取得まで、各自が継続して作成します。

○は学期・学年・活動終了時に作成、■は活動・取組後に随時作成してファイルしてください。

	2年次	3年次	4年次
「個人票」 (随時)	■	■	■
「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」 (学期ごと)	○ 1 年次も含めて記入	○	○
「教職に関する活動等」 (活動後随時)	■	■	■
「自己評価シート」 (学年ごと)	○	○	○
「介護等体験レポート」 (体験終了後すぐ)	—	○	○
「教育実習レポート」 (実習終了後すぐ)	—	—	○
「教育の基礎的理解に関する科目等のレポート」 (作成後随時)	■	■	■
提出・返却時期	—	教育実習事前面接 (12月頃) 担当者確認後、返却	教職実践演習初回授業 (秋学期履修) 学位記授与式にて返却

- ・ 上記の学年は、4年次に教育実習を行う場合です。科目等履修生、春派遣長期留学生などは、教育実習を行う時期に合わせて提出時期を算出してください。介護等体験についても、4年次で行った場合は、体験終了後に記入してください。

1. 「個人票」について

連絡先を記入し、証明写真も必ず貼り付けてください。介護等体験や教育実習の欄は、体験や実習後すぐに記入してください。

2.「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」について

各学期終了後、履修した科目について、「修得年度」「教員名」「成績評価」「学んだこと・今後の課題」を記入してください。履修した全ての科目を記入してください。

「学んだこと・今後の課題」欄は 100 字(8行)程度で要約して記入してください。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況(その1)						(記入例)	
法令上の 区分	科目名	単 位 数	修得 年度	教員名	成績 評価	学んだこと・今後の課題	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	教職概論	2	20▲▲	関西太郎	95	○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○	必修

3.「教職に関連する活動等」について

3-1. ボランティア・インターンシップ等について

教育活動に関するボランティアやインターンシップ等の活動があれば記入してください。

3-1. ボランティア・インターンシップ等				(記入例)
名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
小学生学びング キャンパス	○年○月○日	関西外大	企画・イベントの実施	○○○○○○○○○○ ○○○…
KTAP	○年○月○日～ ○年○月○日	○○小学校	放課後の指導補助	○○○○○○○○○○ ○○○…

3-2. 教育に関する学会・セミナー・研修会・講演会・自主的勉強会等への参加について

参加した学会、シンポジウムや学内リレー講義等があれば記入してください。

3-3. 研究論文・エッセイ・プレゼンテーション等について

卒業論文を含む研究論文、エッセイやプレゼンテーション等があれば記してください。

4.「自己評価シート」について

各学年が終了する段階で、その学年での教職及び教科に関する学習過程について自己評価を行い、該当する数字を記入してください。また、1年次終了時、2年次終了時、3年次終了時及び4年次春学期終了時に「教員を目指す上で課題と考えている事項」について記入してください。

5. 「介護等体験レポートに関すること」について

介護等体験終了後、「介護等体験記録」のコピーを綴じ込んでください。

6. 「教育実習レポートに関すること」について

教育実習研究会終了後、「課題レポート」のコピーを綴じ込んでください。

7.「教育の基礎的理解に関する科目等のレポート」について

教育の基礎的理解に関する科目等の授業で提出したレポートの中から1つ以上を選び、そのコピーを綴じ込んでください。

8. 「教職実践演習担当者によるコメント記載欄」について

この欄は記入しないでください。

履修カルテ

1. 個人票

連絡先

学 部		学 科		写真貼付 横 3cm×縦 4cm 本人単身・上半身・ <u>正面・無帽・無背景</u> 正式な書類に使用 可能な証明写真を 貼付してください。学 籍番号、名前を裏 面に記入してくださ い。
コース				
クラス		学籍番号		
ふりがな				
氏 名				
メールアドレス	@			
所属クラブ名(学内) ※簡単な活動内容も記入				

介護等体験について

	施設・校名	体 験 期 間	年次
社会福祉施設		年 月 日 ～ 月 日	
特別支援学校		年 月 日 ～ 月 日	

教育実習について

校 種	実習校名	実 施 期 間
小・中・高		年 月 日 ～ 月 日
小・中・高		年 月 日 ～ 月 日

◎校種に○をつけ、実施期間を記入してください。2校で実習を行う場合は2校(小学校科目等履修生など)記入してください。

留学について

留学先(国名)	留学プログラム	留 学 期 間
		年 月 ～ 年 月
		(間)
		年 月 ～ 年 月
		(間)
		年 月 ～ 年 月
		(間)

()内は□日間、□週間、□年間などを記入してください。

履修カルテ

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況(その1)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと・今後の課題	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	2					必修
	教職概論	2					必修
	教育制度概論	2					必修
	教育心理学	2					必修

履修カルテ

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況(その2)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと・今後の課題	備考
教育の基礎的理解に関する科目	特別支援教育概論	2					必修
	教育課程の意義と編成	1					必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	2					必修
	総合的な学習の時間の理論と実践	1					必修

履修カルテ

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況(その3)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと・今後の課題	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	特別活動の 理論と実践	2					必修
	教育方法の 理論と実践	2					必修
	生徒・進路 指導論	2					必修
	教育相談	2					必修

履修カルテ

2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況(その4)

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	教員名	成績評価	学んだこと・今後の課題	備考
教育実践に関する科目	教育実習 I	5					必修
	教職実践演習 (中・高)	2					必修

履修カルテ

3-2. 教育に関する学会・セミナー・研修会・自主的勉強会・講演会等への参加

名称	期間または年月日	場所	活動内容	学んだこと
	年 月 日 ～ 年 月 日 (年次)			
	年 月 日 ～ 年 月 日 (年次)			
	年 月 日 ～ 年 月 日 (年次)			
	年 月 日 ～ 年 月 日 (年次)			

3-3. 研究論文・エッセイ・プレゼンテーション等

名称	期間または年月日	(提出)場所	内容
	年 月 日 (年次)		
	年 月 日 (年次)		
	年 月 日 (年次)		

履修カルテ

4. 自己評価シート

下記項目について、6段階であてはまる数字に○をつけてください。

基準(5:とてもよくできた, 4:ある程度できた, 3:どちらともいえない, 2:あまりできなかった, 1:できなかった, 0:履修していない)

(教科及び教科の指導法に関する科目)

免許法施行規則に定める科目	本学授業科目	指標	自己評価 (5段階)
国語学	国語学概論	国語教育に生かせる知識として日本語の音声・音韻、文法の体系を説明できましたか。	5・4・3・2・1・0
	日本語学研究 A	現代日本語学の様々な研究テーマを具体的な例を通して理解し、日本語学の基礎的な事項を説明できましたか。	5・4・3・2・1・0
	日本語学研究 B	音声学・音韻論、形態論、統語論の基本的概念を説明できましたか。 言語データの整理、分析といった過程を通じて、日本語の構造を理解できましたか。 音声学・音韻論、形態論、統語論の最新の研究動向を説明できましたか。	5・4・3・2・1・0
	言語学研究 A	人間の言葉というものに対する新たな見方を養うことができましたか。 人間の言葉について自身で分析し、考えるおもしろさを知ることができましたか。	5・4・3・2・1・0
国文学	国文学概論	「物語」「和歌」「連歌」「俳諧」「説話」「お伽草子」「浮世草子」「読本」などがどのような表現であるか説明できましたか。 「古代」「中世」「近世」といった大きな枠組みで、それぞれがどのような時代であったかを歴史的背景と関連付けて、文学作品の特質を説明できましたか。 近代文学の流れを把握しながら、それぞれの作家がどのような特徴を持っているのかについて理解できましたか。	5・4・3・2・1・0
	日本文学史	日本古典文学作品について、作者・成立・構成・表現・文学的意義を説明できましたか。 文学作品における表現技法・文学論を説明できましたか。 文学作品を読解することを通して、作品で描かれる人間の心について自分の考えを述べることができましたか。	5・4・3・2・1・0
	日本の伝統文化	日本の「うた」や音楽・芸能を鑑賞するのに必要な最低限の基礎知識をしっかりと身に付け、まずは日本語で、更には本学で培った語学力を活かして、次代を担う世代や異文化を有する人々に日本の文化を正しく伝えられるようになることができたか。	5・4・3・2・1・0
漢文学	漢文学概論	日本文学の基底をなす中国文学について学び、「漢文学」の理解を深めましたか。	5・4・3・2・1・0
書道	書道	国語科書写の指導内容と方法、必要とされる硬筆及び毛筆の書写能力について理解し、授業計画の立案及び実際の授業ができるようになりましたか。	5・4・3・2・1・0
各教科の指導法	国語科教育法Ⅰ	国語科教員に必要な基本的理論習得と授業実践力、および学習指導要領の内容の理解とその実践力を身につけることができましたか。	5・4・3・2・1・0
	国語科教育法Ⅱ	国語科教育法Ⅰで学んだ国語科教員に必要な基本的理論習得と授業技術の基礎の上に、この授業を通して授業実践力を深めることができましたか。	5・4・3・2・1・0

(大学が独自に設定する科目)

免許法施行規則に定める科目	本学授業科目	指標	自己評価 (5段階)
大学が独自に設定する科目	介護等体験学習	高齢者や障害を有する方等との関わりを通じて、「人権意識の高揚」「いのちの尊さ」を自ら修得できましたか。 社会人として相応しい言動や知識、マナー等、教育者として生徒の模範となる資質を修得できましたか。	5・4・3・2・1・0
	学校体験活動	学校等で児童生徒と関わる体験を通じて、専門職としての教師の課題についての自覚を深めましたか。 継続的に活動することで、生徒理解を深め、その支援に関する実践的な知見を深めることができましたか。	5・4・3・2・1・0

履修カルテ

自己評価シート(必要な資質能力について)

下記項目について、5段階であてはまる数字に○をつけてください。

基準(5:とてもよくできた、4:ある程度できた、3:どちらともいえない、2:あまりできなかった、1:できなかった)

項目 1	項目 2	指標	本学授業科目	自己評価(5段階)			
				1年次	2年次	3年次	4年次
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	教職概論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	教育基礎論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	教育制度概論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	教育心理学 特別支援教育概論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	教育相談 特別支援教育概論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	教育相談	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	教育相談	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	教育心理学 生徒・進路指導論 特別支援教育概論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	生徒・進路指導論	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	教育相談	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	英語科	これまで履修した英語科教育分野の科目の内容について理解していますか。	教科に関する科目 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教科書・学習指導要領	教科書や中学校・高等学校学習指導要領(英語科)の内容を理解していますか。	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	道徳教育の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

履修カルテ

	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	総合的な学習の時間の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	教育方法の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業構想力	教材研究を生かした英語科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	教育方法の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	教育方法の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	教育方法の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	教育方法の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	特別活動の理論と実践	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
課題探求	課題認識と探究心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。		5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりの意見を持つことができますか。	教育相談	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1

教員を目指す上で課題と考えている事項(必須)

学年	事項	日付
1 年次		
2 年次		
3 年次		
4 年次		

履修カルテ

提出項目チェック欄

「教職実践演習」初回授業での提出の際に、各項目を確認し☑してください。

項目	作成・添付済	活動終了後 提出予定
1.「個人票」		
2.「教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況」		
3.「教職に関連する活動等」		
4.「自己評価シート」		
5.「介護等体験レポートに関すること」		
6.「教育実習レポートに関すること」		
7.「教育の基礎的理解に関する科目等のレポート」		

8.「教職実践演習」担当教員によるコメント記載欄

担当教員名
⑩